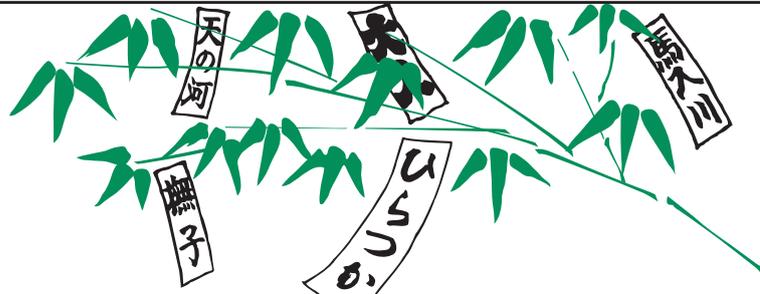




http://hiratsuka-rotary.jp



Be a gift to the world

2015~2016年度
国際ロータリーテーマ
Be a gift to the world
「世界へのプレゼントになろう」

HIRATSUKA R.C. WEEKLY

- 会長 常盤卓嗣 ● 副会長 片野之万 ● 幹事 高橋建二 ● 会報委員長 西村裕子 (2015~2016年度) E-mail:hiraturc@ma.scn-net.ne.jp
- 例会日 毎週木曜日 12:15~13:30 ● 会場 グランドホテル神奈中 平塚2F ● 事務局 平塚市松風町2-10 平塚商工会議所内
- 四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

第3013回例会 2015年9月3日 グランドホテル神奈中 週報第3013号

本日の卓話者ご紹介

有限会社 佐野石材
代表取締役 佐野 成良 様
(平塚商工会議所青年部 (YEG) 会長)



卓話

有限会社 佐野石材
代表取締役 佐野 成良
(平塚商工会議所青年部 (YEG) 会長)

第一部 平塚近郊のお墓事情

人は必ず死を迎え、そしてほとんどの人がお墓に埋葬されます。現在では宗教や地域、環境により様々な埋葬方法があります。個人墓地では、寺院・霊園。集団埋葬のビルや樹木葬。海や山への散骨等々。では、何のためにお墓があるのか！散骨や樹木葬はお墓ではありません。良くご住職から聞くことは、生きていた人がご先祖様や故人に対して、感謝の心を忘れず供養をするための形と聞きます。あるご住職さまは「散骨はお骨を捨てて供養を放棄するのと同じ事」とお話しされます。私は、宗教などには関係なく、ご先祖様へ感謝と供養をすることは当たり前のことだと思います。そして、日本の未来は、お墓や宗教と密接に関係し、ご先祖様やお墓を大切に供養し続けることが日本の未来を明るくするカギとなると考えます。では、現在の平塚近郊のお墓事情は、個人墓

地と集団埋葬がほとんどです。寺院では、個人でお墓を持ち永代供養として土地を借り、お墓を建て埋葬し継承していくお墓と、納骨堂として個人ではなく集団で埋葬されご供養しお墓参りもできるお墓、特殊な場合は夫婦墓・個人墓等となります。霊園では、個人墓地と納骨堂、樹木葬となります。今後、お墓の購入を考えている方へのポイントです。①寺院か霊園（民間・市営）。②個人墓地か集団墓地（納骨堂）。③後継者がいるかないか。④購入時の経費と維持管理費。お墓の事は、焦らず慌てずゆっくり考えることが一番大切です。

第二部 平塚商工会議所青年部の現状

平成27年度は、情～NASAKE～情報・情熱・懇情をスローガンとして、NO.1ではなくオンリー1の平塚YEGと会員。偉い平塚YEGではなく最高の平塚YEGを目指し4月から活動しています。本来平塚YEGは若手経営者や経営者の卵の45歳以下の集団であり、日々研鑽と失敗、経験と挫折を繰り返す自社の発展のため、個の成長のために会社経営の合間、時間を作りYEG活動しています。現在では会員も113名となり、多方面からイベントや事業への協力依頼も増えてきました。しかし、私たちは会社あつての会員であり、会社経営が良くなければYEG活動もできません。実際、会社が倒産し退会する会員もいます。そこで今年度は本当に平塚YEGに関わり、行う事業なのかをしっかりと見極め、相談し断る勇気と決断をしています。また、私が平塚YEGに入会し、多くの友人・仲間が出来た事と、研修・研鑽を積み重ね様々な経験と勉強ができた事の2つを、今年度しっかりと形として表しています。現在まで定例会として、4月会員総会、5月会員交流カード大会、6月第一印象研修、7月七夕まつり協力、8月YEG版ぶらりはしごな酒と開催し、今後は9月経営者研修、10月YEGまつり（囲碁まつりコラボ企画）11月臨時総会、12月

<出席報告>

本日 9月3日	会員数 59名	対象者 56名	出席者 49(46)名	出席率 83.05%			
前々回 8月20日	会員数 59名	対象者 56名	出席者 45(42)名	出席率 76.27%	MUP 1名	計 46名	修正率 77.97%

第26回小学生駅伝競走大会、1月県連会長輩出決起会、2月YEG公開セミナー、3月卒業式と続いていきます。今後はもっと会員同士が語り、様々な情報と知識を共有し自社の経営に活かし、情熱と懇情で平塚YEGを盛り上げ、自社の発展と地域の発展へと繋げていきたいと思っています。

卓話者プロフィール

佐野成良様

- 昭和48年生まれ 41歳
- 有限会社 佐野石材店 代表取締役
(墓石・墓地工事・石材工事)
- グループ会社 石成〜いしなり〜 (石材文字彫刻)
和恵美食 佐の (日本料理)
- 趣味【釣り・神輿・料理・芝刈り・サッカー・・・】
- 平成27年度平塚商工会議所青年部会長

<幹事報告>

◎16-17年度DDF方針説明及び奉仕プロジェクト事例紹介セミナーのお知らせ

日時：10/3(土) 受付14:30～
開始15:00～17:30

場所：辻堂駅北口 アイクロス湘南6F
*清水孝一エレクト、原田社会奉仕委員長出席します。

◎青少年交換留学生クラブ負担金のお願い

カナダより男子学生が8/22に来日したそうです。平塚南RCがホストクラブとなります。会員1人当たり3,000円です。クラブより支出します。

◎平塚市美術館より展示会のお知らせ

企画：「画家の詩、詩人の絵」
会期：9/19(土)～11/8(日)
*招待券を2枚いただきました。ご希望の方は例会時受付までお早目に。

<メイクアップ> 1名 柏手 茂 会員

<本日のスマイル> 25名

<ゲスト> 1名
佐野成良様(卓話者)

<ビジター> 0名

<卓話・行事予定>

- 10月 1日(木) 第8グループガバナー補佐
平野達雄様(平塚西RC)
- 8日(木) (株)不二家平塚工場
総務・人事課長 天童正浩様
- 15日(木) RID2780 ガバナー
田中賢三様(茅ヶ崎RC)
- 22日(木) →10/19(月)
よい音楽に親しむ会
(大住学区の小中学生対象)
昼食・事務連絡後、平塚中央公民館にて開催
- 29日(木) →10/25(日)
地区大会に振替
場所：茅ヶ崎市民文化会館大ホール

<市内例会変更>

現在ございません。

年次基金とシェア

ロータリークラブは、世界中の地域社会で、平和の推進、水と衛生の改善、教育の支援、地元経済の促進、母子の健康改善、疾病の治療・予防といった活動にあっています。このようなクラブの取り組みを支えているのが、年次基金へのご寄付です。

シェアとDDF

ロータリー財団へのご寄付は、シェアシステムと呼ばれる仕組みを通じて、人道的プロジェクト、奨学金、職業研修チームの活動を支える補助金に生まれ変わります。地区内のクラブからの年次基金(シェア)へのご寄付は、ロータリー年度末に、国際財団活動資金(WF)とDDF(地区財団活動資金)に分けられます。

地区は、寄付の3年後にこのDDFをクラブや地区、または財団のプロジェクトのために活用できます。DDFの半分までを地区補助金として使用でき、残りをグローバル補助金の申請、ポリオプラスやロータリー平和センターの支援、ほかの地区への寄贈のために使うことができます。

国際財団活動資金(WF)

国際財団活動資金(WF=World Fund)は、世界の最優先課題に取り組む活動に資金を提供するものです。シェアシステムを通じたご寄付の50%がWFとなりますが、ご寄付すべてをWFに指定することも可能です。WFはロータリー財団が管理し、全ロータリー地区が申請できる補助金やプログラムの資金として活用されます。